城北まちづくり通信

2022/5/13
３９号
城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

城北のまちづくりを、推進してくださっている事業者のみなさん

城北まちづくり協議会は、「市民（城北）と行政による協働のまちづくり」の実現を目指して、設立された組織です。(鳥取市自治基本条例　第3章　自治の基本原則)
ところで、その「市民」とは、市内において事業を行う皆さんも含まれます。
城北地区には、約7500人が居住し、関係(事業者等)人口を含めると約10000人にもなります。　今号では、城北のまちづくりを、共に推進してくださっている事業者の活動事例を紹介します。　＊今後、他の事業者の皆さんも紹介させていただく予定です。

鳥取トヨペット　鳥取店：【住所：鳥取市安長850】

城北地区で事業を営む「鳥取トヨペット：鳥取店」は、以前から地域社会貢献活動として、「**もっと　豊かな　街づくりを**」をスローガンに、地域に密着したボランティア活動や、環境にやさしい保全活動・緑化活動など、地域住民と共に取り組んでこられている事業者の一つです。

今回、『**ゴミ拾いはスポーツだ！**』と題して、楽しみながら城北地区近隣をキレイにする**「スポＧＯＭＩ」**を開催されるとのことです。ルールは簡単で、鳥取トヨペットの半径1km程度の範囲で、制限時間内に集めたゴミの種類と重さで順位を競うのだそうです。

▌日時：5月22日(日)10:00～12:00　小雨決行(受付9:30~)
▌参加無料　先着20組(1チーム3～5名)
▌申し込みが必要：インターネットorFAX
＊詳しいことは「鳥取トヨペット株式会社 鳥取店」までお問い合わせください。

地域社会貢献活動として、以前から下記のような取り組みもされてきました。

鳥取市避難所協定

地震や台風などもしもの災害時、ショールームを避難場所として提供する事で、地域の皆さんが安心して避難できるよう鳥取市と協定を結び、避難時に必要な、避難者50名が3日間過ごせる「備蓄水」、缶入りパンやエナジークッキーなどの「非常食」を準備されています。(但し、市が避難所として指定した場合にのみ活用できます)

ＡＥＤ設置

城北地区住民が“万が一の際には、迷わずご利用ください”との呼びかけで緊急事態に対応できるようにＡＥＤが設置されています。

こども110番

子どもが危険に遭遇したり、困った時に安心して立ち寄れる場所として「こども110番」の看板を掲示していただいています。

介助専門士の配置

介助専門士とは、高齢者や障がいのある方と、そのご家族に対して、相談内容に沿った最適な商品（車）選びの提案と、快適な利用のために介助の専門知識・技術・心得を習得した専門員の方のことです。 NPO法人日本介助専門員推進協会が認定する資格で、店舗に介助専門士の方が配置されています。

あいサポート運動

様々な障がいの特性、障がいのある方が困っている事や、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)を実現することを目的として「あいサポート企業」として認定されています。

＊紙幅の関係で、すべてのまちづくりに関わる取り組みを紹介することは出来ませんでした。今後も、連携して共にまちづくりを推進していただくことにしています。